

資料編

1 指導と評価の計画 (22時間)

〔この表の見方〕 □ ねらい、

〔評価規準〕

関心・意欲・態度

思考・判断

技能・表現

知識・理解

過 時 程 間	学 習 活 動 活 動	支援及び指導上の留意点 ・全体、「C」生徒への支援	学習活動における 具体的評価規準	評 価 基 準			評価方法 場面・方法
				A (3)	B (2)	C (1)	
	<b>1 テーマ設定 (4時間)</b>						
	<b>自分が考える高崎市の問題点から、調査すべき対象を決定し、学習テーマとして設定する。</b>						
つ か む	1 学級で「高崎市の問題点」をウェブマップにまとめる。	・全体の意見を一人一人が視覚的にとらえられるよう、教師が司会をしながら、フリートの形で意見を出し合い、黒板にウェブマップを作成する。 シート中の「問題の例」を参考にしよう助言する。 市全体に及ばないまでも、日頃不便や疑問を感じていることはないか問いかける。	ウェブマップづくりに積極的に取り組んでいる。	シートに5つ以上の問題点をあげている。	シートに3つ以上の問題点をあげている。	問題点が3つ未満しかあがらない。	行動観察 学習シート1
	1 自分が問題と考える要素を調査テーマとして設定し、設定理由を明確にする。 (例) 問題 ・犯罪が増えている 調査テーマ ・犯罪の種類と数について 設定理由 ・最近TV沙汰になる犯罪が多い。(殺人事件など) ・非行防止教室で中学生も多くかかっていると聞いた ・夜のコンビニに暴走族らしき人がたまっていて怖い。 ・警察の取り締まり状況がどうなっているのか知りたい。	・問題発見の参考資料として使えるよう、前時のウェブマップをプリントして配る。 ・設定理由は4カ所書ける欄を設け具体的に書くよう指示する。 ・「テーマ設定の観点」として、 <b>問題の重要性</b> <b>問題の緊急性</b> <b>調査の可能性</b> を学習シートにて提示する。 テーマについては、ウェブマップに出たことの中から選ばせる。 理由が挙げられない場合は、具体的な例を挙げさせることでイメージをもたせる。	設定理由を明確にしたテーマ設定ができる。	3つ以上の設定理由を挙げて、テーマが設定できている。	1～2つの設定理由を挙げて、テーマが設定できている。	設定理由が挙げられない、又はテーマ設定ができない。	学習シート1
む	2 学習班(4人組)で、テーマ設定の観点(学習シート)を参考に、各自のテーマと設定理由が妥当であるか、検討会を行う。 ・班の中でシートを回覧し、気づいた点を助言として記述する ・時間を取り、各自、検討・修正を行う。 ・修正結果や疑問点を出し合い、討論する。 自己のテーマを再度見直し、必要ならば変更・修正を加えて、テーマを決定する。 テーマ設定までの自己評価をする。	・多面的な意見が出るように、同一テーマをもつ者がダブらない班組みをする。 ・検討会がスムーズに進行するよう、日頃からリーダーとして活躍している生徒を司会に立てる。 ・テーマ設定の観点を規準に行うことを再確認し、客観的かつ建設的な討論ができるようにする。 ・友人や教師の助言は、学習シートの記録欄に記録することを確認する。 ・より客観的で妥当性のあるテーマ設定のために、他人の意見を参考にしよう助言する。 ・自己評価の時にわかりやすいよう、修正部分については、色を変えて書き込むことを確認する。 口頭で助言できない場合は、シートに記述するよう促す。 ほかから改善提案をもらっていても修正に結びつけられない生徒は、机間巡視の中で個別に支援する。	検討会に積極的に参加している。  他人の意見を生かしたテーマ設定ができる。	班員(3人)すべてに対し、何らかの助言が行える。  ほかからの意見を参考にして、自己のテーマに修正が加えられる。	班員1～2人に対し、何らかの助言が行える。  参考意見としてほかからの意見を記録している。	班員のだれにも助言を行うことができない。  ほかからの意見を記録できない。	行動観察 学習シート1
	2 調査活動(11時間)	<b>調査内容によりいくつかのコースに分かれ、調査計画を立て、課題解決を図る。</b>					
追 究 す る	1 類似テーマごとに調査グループを作り、調査計画を立てる。 ・個人テーマの一覧をグルーピングして、調査グループを決める。 (例)伝統文化グループ 『高崎だるま調査班』 自然・環境グループ 『烏川の水質調査班』 政治とくらしグループ 『交通機関調査班』等	・類似テーマごとに、歴史、伝統、文化、行事、生活、政治・経済、環境、産業等の「調査グループ」を作る。 ・あらかじめカードに書いた個人テーマを黒板に貼り、生徒の意見をもとにグルーピングを行う。 (3～5つにグルーピングし、生徒がグループ名をつける。) ・グループの中に、調査対象物が同一又は、かなり近い者同士で、さらなる小グループ(班)を	意欲的に調査活動に取り組んでいる。	教師や友人と意見交換しながら調査活動が進められている。	自力で調査活動が進められている。	意欲的に調査活動が進められない。	行動観察

		作る。 阻害要因が個人によって異なるので、見取りの中で個別にカウンセリングを行う。 見通し <sup>2</sup>						
追 究 す る	2	<p>班に分かれ、調査計画を立てる。</p> <p>A. 何を調査対象とするか。 〔個人テーマと、設定理由の再確認〕</p> <p>B. 対象についてどんなことを調べていけばよいか。</p> <p>C. 調べるためには、どんな方法があるか。 など</p> <p>(例) A. 烏川の水質 B. 水質基準に照らしてどのくらいの値なのか。 ほかの地域と比べてどうか汚れる原因は何か など</p> <p>C. 市環境課HP 高崎市の統計資料 市の環境白書 理科の先生の話 市環境課の人の話 など</p> <p>調査グループの中で、調査計画検討会を行い、計画の検討・修正をする。</p> <p>・グループ内でシートを回覧し、班ごとに気づいた点を話し合っ、助言を記述する。</p> <p>・時間を取り、各自、検討・修正を行う。</p> <p>・修正結果や疑問点を出し合い、討論する。</p> <p>・検討会後にさらに変更・修正を加え、調査計画を完成する。</p>	<p>調査計画立案の観点として、<b>調査の手順</b></p> <p>・計画の立案 事前調査 疑問 現地調査 等</p> <p><b>調査の内容</b></p> <p>・問題の現状、関係者、現在までの過程、今後の展望、他地域との比較 等</p> <p><b>調査の方法</b></p> <p>・インターネット(市役所HP)</p> <p>・文書資料(市史、統計資料)</p> <p>・アンケート、インタビュー</p> <p>・実地調査 等を、学習シートに提示する。</p> <p>・学習シートでは、に重点をおいた枠づくりをし、学習活動のABCを中心に考えていけるようにする。</p> <p>・検討の主旨をはずさないよう、視点として、 問題の大きさが分かるか、 問題の様子(内容)が分かるか 反対立場の意見も調べようとしているか。 調査メディア(方法)は適切か、 調査が可能か。 を黒板に掲示し、留意しながら進めるよう助言する。</p> <p>・最終案がまとまった班には提出を求め、個別に支援する。 調査項目が挙げられない生徒には、テーマの設定理由に書かれていることを調べるよう指示する。 メディアが挙げられない生徒には、仮の案でもよしとして、次の調査段階で支援していく。</p>	<p>検討会に積極的に参加している。</p> <p>調査計画立案の観点やほかの意見を参考に、見通しをもって調査計画を立てることができる。</p>	<p>すべての班に対し何らかの助言が与えられ、かつ討論の場で意見を言うことができる。</p> <p>調査項目と調査メディアが、5組以上挙げられている。</p>	<p>すべての班に対し、何らかの助言が与えられる。</p> <p>調査項目と調査メディアが、2組以上挙げられている。</p>	<p>2つ未満の班に対し、何らかの助言が与えられる。</p> <p>調査項目と調査メディアが、2組未満しかあげられない。</p>	<p>行動観察</p> <p>学習シート2</p>
	4	<p>調査計画に沿って事前調査を行い、わかったことと疑問点を整理する。</p> <p>・班単位で行動し、調査を進める。</p> <p>〔インターネット パソコン室 書籍、文書資料 図書室 校外調査 学校周辺 学校職員 職員室等 FAX、Eメール 職員室〕</p> <p>・毎時間の後半5分は、班で調査結果を確認し合い、次の活動の方向性をもつ。</p>	<p>生徒の動きが多岐にわたるので、副担任教師は担当学級にT2としてかかわり、TT形式で指導に当たる。</p> <p>・調査活動に支障がある班には適宜、支援を行う。</p> <p><b>考えられる障害</b></p> <p>調査メディアが決まらない。 いかなる方法を用いても、得たい情報が得られない。</p> <p><b>障害に対する支援</b></p> <p>図書室やパソコン室で、共に該当資料を探し、活用の仕方を教える。(その過程で、資料の探し方についても触れる)</p> <p>調査対象の変更を促す。ほかの対象物からテーマに迫れないか考える。</p>	<p>適切な調査方法を選択し、調査項目に対する回答を得ることができる。</p>	<p>3種類以上の調査方法を駆使し、適切な回答を得ることができる。</p>	<p>1～2種類以上の調査方法を駆使し、適切な回答を得ることができる。</p>	<p>選んだ調査方法から適切な回答を得ることができない。</p>	<p>学習シート2</p>
	2	<p>いまだ不明な点や、さらなる疑問点を基に、現地調査の計画を立てる。</p> <p>・あと何を調べればよいか。</p> <p>・どこに行けば調べられるか</p> <p>・アポイントをどう取るか。</p> <p>調査グループの中で調査の進行状況を確認し合い、計画の検討・修正をする。</p>	<p>・事前調査では解明できなかった点を調査項目として挙げ、現地調査で解決することを確認する。</p> <p>・問題解決という視点から、特に因果関係や、現在行われている対策等について、明確になっているか検討するよう助言する。</p> <p>・実地調査の項目が適切か、検討会を行い、修正させる。</p> <p>・アポイントの取り方や調査地での行動については適宜指導を行う あと何が必要か、どんな話が聞きたいかを視点に、個別・班別の支援を行う。</p>	<p>得られた情報を整理し、現地調査計画を立てることができる。</p>	<p>現地調査項目が5つ以上、設定できる。</p>	<p>現地調査項目が2～4つ、設定できる。</p>	<p>現地調査項目が2つ未満しか設定できない。</p>	<p>学習シート2</p>
	2	<p>現地へ赴き、専門家に直接話を聞きながら、調査を行う。<b>【ふれあい高崎】</b></p>	<p>・交通マナー、現地での対応について事前指導を行う。</p> <p>・大勢の生徒が訪問する場所については、担当職員が出向く。</p>	<p>専門家とのやりとりから必要な情報を得ることができる。</p>	<p>予定した調査項目以外の情報も得ることができる。</p>	<p>予定した調査項目に即した情報を得ることができる。</p>	<p>調査項目に対する回答のすべてを記録できない。</p>	<p>学習シート2</p>

		調査終了後、ほかの班員の記録を参考にしよう助言する。						
	3	まとめ(7時間)	<b>調査結果について考察を行い、パネルディスカッション形式で問題点に対する改善提案を行う。</b>					
ま と め	2	課題に対する考察を行い、課題(テーマ)に対する改善提案をまとめる。 ・各自の提案をまとめる。 ・班の中で意見を出し合い、班としての提案をまとめる。 ・班内で評価を行い、必要なら補充調査を行う。	・考察の観点は、因果関係はどうなっているか、どんな解決策が考えられるか社会的に見て、どの策が適切か。(実行できそうか) ・調査から得た情報と既習の知識を用い、観点に照らして改善策をまとめるよう助言する。 ・提案をまとめる際、情報が不足していれば、補充調査をするが、授業時間外に個別で指導する。 問題点をはっきりさせること、それを除去するためには何をすればよいか、という視点でアドバイスする。	調査結果を踏まえ、問題点に対して自分なりの改善提案ができる。	1つの問題に対し、違った角度から2つ以上の改善提案ができる。	1つの問題に対し、1つの改善提案ができる。	改善提案ができない。	学習シート3
	3	プレゼンテーション資料を作成する ・主たる資料は、レポートとしてA4版両面にまとめる。 ・補助資料について、発表の仕方を考えて、方法を選択し加工する。	・プレゼンテーションの手段は、代表的なものを例示することで、選択を支援する。 (例)動画 VTR+プロジェクター 写真 パソコン、OHC +プロジェクター 音声 プレーヤー、役割演技 具物体 実物提示、スケッチ ・資料は、全員が必要に応じて見返せるように、クラス人数分印刷をし、製本・配布する。 (パワーポイントは、量が増えるので、今回は使用しない) 見通し 3					
め る	2	パネルディスカッションを行う。 ・班ごとに代表者による発表を行う。(各班1名ずつパネラーとして参加。) ・発表後、質疑応答の時間を取り、討論をする。 ・ワークシートをメモ代わりに使いながら参加する。 ・最後に感想を書き、ワークシートを提出する。  自己評価を行い、次年度の学習への課題を整理する	・ディスカッション中に記録する内容を学習シートに提示する。 賛成できる提案、回答 疑問がある提案、回答 についての自分の見解 出席してみての感想 について書き込めるものとする。 ・パネルディスカッションの司会は教師が行い、改善提案に対する意見をパネラーだけでなく聴衆からも広く求める。 ・各発表後、質疑応答の時間を取り、出された意見をもとに、論点を絞る。 ・すべての発表終了後、討論に入るが、問題が多岐にわたり、共通視点での論議がしづらいため、個々の改善策の妥当性を議論し、最後に「自分たちにできること」という視点を与える。 ディスカッションの中で、記録をすることをこまめにうながしたり発言した生徒を認め、励ますなど、意見を出しやすい雰囲気を工夫する。 ・今年度の学習が、次年度の「ふれあい群馬」に生かせるよう、本学習の反省 次年度「ふれあい群馬」でそれをどう生かすか。 次年度「ふれあい群馬」では、県のどんな問題を調査してみたいか。 の3点を、学習シート(自己評価欄)に設ける。 ・総合ファイルに保管し、次年度へ引き継ぐ。 今回の反省事項をヒアリングし、それを改善するという視点で次年度の課題をイメージさせる。	意欲的に討論にかかわることができる。  多面的な見方で、問題解決への意見をもつことができる。	学習シート1項目への記入と発言1回をそれぞれ1ポイントとし、5ポイント以上である。  自分の見解や感想の中に、改善に向けての具体的な行動の方法が、3つ以上書かれている。	学習シート1項目への記入と発言1回をそれぞれ1ポイントとし、3ポイント以上である。  自分の見解や感想の中に、改善に向けての具体的な行動の方法が1~2つ書かれている。	学習シート1項目への記入と発言1回をそれぞれ1ポイントとし、3ポイント未満である。  自分の見解や感想の中に、改善に向けての具体的な行動の方法が書かれていない。	学習シート3 行動観察  学習シート3  学習シート3

## 2 学習指導案

### (1) 3・4時間目 見通し1

- 1 ねらい テーマ検討会(意見交流)を通して、自分のテーマを見つめ直し、より客観的で適切なテーマ設定ができる。
- 2 準備 学習シート(1)、設定の観点を示したフラッシュカード。
- 3 評価規準 ・検討会に積極的に参加している。【関心・意欲・態度】  
・他人の意見を生かしたテーマ設定ができる。【思考・判断】
- 4 展開(2時間分)

過程	学 習 活 動	支援および留意点	時間	見取りの視点(方法)
つ か む	<p>本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>他人の意見を参考にして、よりよいテーマを作ろう！</p> </div> <p>前時の学習を想起する。</p>	<p>テーマ設定の理由が適切か、再度検討するよう指示する。 迷った点、難しかった点を解決する時間であることを確認する。</p>	15	
追 究 す る	<p>テーマ検討会を行う。 ・班の中でシートを回覧し、気づいた点を助言として記述する。(20分) ・時間を取り、各自が検討・修正を行う。(10分) ・修正結果や疑問点を出し合い、討論する。(20分)</p>	<p>テーマ設定の観点を規準に検討することを再確認し、3観点をフラッシュカードで黒板に掲示する。 多面的な意見が出るように、同一テーマをもつ者がダブらない班組みをするとともに、スムーズに進行するよう、日頃からリーダーとして活躍している生徒を司会に立てる。</p>  <p>他からの助言は、学習シートの記録欄に記録することを確認する。</p>	50	<p>【関心】 学習シートに詳しく助言を書き込んでいたり、意見交流の段階で積極的に発言している。 (行動観察)</p>
ま と め る	<p>自己のテーマを再度見直し、必要ならば変更・修正を加えて、テーマを決定する。(15分) テーマ設定までの自己評価をする。(20分)</p>	<p>他の意見を謙虚に受け止め、できる限り反映させる努力をうながす。 自己評価の時にわかりやすいよう、修正部分については、色を変えて書き込むことを確認する。</p>	35	<p>【思考】 他の意見を生かして適切な変更や修正が加えられている。 (学習シート1)</p>




(3) 21・22時間目 見直し3

1 ねらい 「パネルディスカッション」形式の意見交流を通して、課題解決への方向性を見だし、主体的に対象にかかわろうとする態度を育てる。

2 準備 学習シート(3)、パネラー(14名)、司会(教員)、会場設営(図書室)。

3 評価規準 ・ディスカッションに積極的に参加している。【関心・意欲・態度】  
 ・多面的な見方で、問題解決への意見をもつことができる。【知識・理解】  
 ・次年度に向けた、自己の課題をもつことができる。【知識・理解】

4 展開(2時間分)

過程	学 習 活 動	支援および留意点	時間	見取りの視点(方法)
	本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         こうすれば高崎はもっとよくなる！ を考える会                     </div>	タイトルを垂れ幕にして、場の雰囲気盛り上げる。	5	
追 究 す る	パネルディスカッションを行う。 ・班の代表者による提案を行う。 ・発表後に設けられた質疑応答の時間に質問をする。 ・学習シートをメモ代わりに使いながら参加する。 ・質問(疑問)事項を論点として、問題解決のための討論をする。 最後に感想を書き、学習シートを提出する。(20分)	学習シートは、 <b>賛成できる提案、回答</b> <b>疑問がある提案、回答</b> <b>についての自分の見解</b> <b>出席してみたの感想</b> について書き込めるものとする。 司会は教師が行い、意見を聴衆からも広く求める。 班ごとに調査テーマが異なり、共通視点での論議がしづらいため、個々の改善策の妥当性を議論し、最後に「自分たちにできること」という視点を与える。	70	【関心】 パネラーまたは聴衆の立場で、全体の前で意見が述べられる。(行動観察) 【知識】 自分の見解や感想の中に、改善に向けての具体的な行動の方法が書かれている。(学習シート)
ま と め る	 自己評価を行い、次年度の学習への課題を整理する	次年度の学習に生かせるよう、 <b>本学習の反省</b> <b>次年度に、それをどう生かすか。</b> <b>次年度「ふれあい群馬」では、県のどんな問題を調査してみたいか。</b> を学習シート(自己評価欄)に設ける。 総合ファイルに保管し、次年度へ引き継ぐ。	25	【知識】 次年度へ向けた自己の課題が具体的に書いている。 (学習シート)

3 「総合的な学習の時間」内容系列表

高崎市立倉賀野中学校

領域	領域の目標	領域の内容	各学年の内容	
			中学校1・2年	中学校3年以上
国際理解	人と人との相互理解・相互交流を基本に国際化の進展に対処することができるように、日本や世界の国々の歴史や文化に関心をもち、異文化交流を通して異文化を理解し尊重し、国際社会の一員として共に生きていくことのできる資質や能力を育てる。	<p>ア異文化理解及び異文化尊重の態度</p> <p>イ共生(国際交流・協調)</p> <p>ウ地域や自国の歴史や伝統文化等の理解及び自己の確立</p> <p>エ外国語によるコミュニケーション</p>	<p>ア他国の歴史や文化への関心を高めると共に、そこに見られる共通性や差異を理解し、尊重しようとする。</p> <p>イ異なる立場や考えの人、外国人などと協調し活動しようとする。</p> <p>ウ自国のよさを見つめ、日本人としての自覚をもち、自己の在り方を考えようとする。</p> <p>エ外国語によるコミュニケーションを積極的に図る。</p>	<p>ア他国の歴史や文化、伝統を包括的・体系的に理解し尊重しようとする。</p> <p>イ様々な国の人々と積極的に交流し、国際親善に努めようとする。</p> <p>ウ国際社会の一員として、日本や日本人の役割について考えようとする。</p> <p>エ外国語で意思の疎通ができるようになる。</p>
情報	様々な学習や生活との関連において、多くの情報の中から自分に必要な情報を収集・選択し活用ことができ、情報の積極的かつ責任ある発信ができる資質や能力を育てる。	<p>ア情報収集と活用</p> <p>イ責任ある情報の発信</p>	<p>ア課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、必要な情報を収集・選択・整理・処理し、生活に生かすことができる。</p> <p>イ社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響を理解すると共に、受け手の状況などを踏まえ責任ある情報の発信ができる。</p>	<p>ア課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、収集・選択した情報を判断し、分析すると共に生活に生かすことができる。</p> <p>イ社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする。</p>
環境	身近な自然に積極的にかかわり、自然のもつ豊かさや大切さや気付き、生活と環境とのかかわりについて理解を深め、自然と共生し、自分のできる方法での環境保全やよりよい環境を創造する資質や能力を育てる。	<p>ア自然に対する感受性や環境への関心</p> <p>イ環境問題と生活様式とのかかわりについての理解</p> <p>ウ環境保全やよりよい環境創造のために、主体的に行動する実践的態度</p>	<p>ア多様な視点や論理で地球規模の自然を見直し、自然保護に必要な生活の在り方を考える。</p> <p>イ生産・流通・消費といった人間の生活の営みが、様々な面で環境に影響を及ぼしていることを理解する。</p> <p>ウよりよい環境創造、経済活動や生活様式の変化など多面的な視点から環境問題をとらえ、自分ができることを考えたり、実践したりする。</p>	<p>ア地域規模・地球的規模の環境問題、自然破壊等を多様な視点から科学的に分析し、産業と自然や環境とのあるべき姿を考える。</p> <p>イ人間と環境との関連性を幅広くとらえる中で諸矛盾を見出し、人間の責任や役割について理解し、よりよい自然との共生について考える。</p> <p>ウ環境問題の解決やよりよい環境の創造のための取組の裏にある諸矛盾に気付き、将来にわたって考えていかなければならないことは何かを考え、自分なりの日常の実践を行う。</p>
福祉	自分を含め、様々な人々がそれぞれに生きがいをもって生きようとしていること、そのためにお互いに助け合っていることを理解し、より一層充実した福祉社会の実現に貢献する資質や能力を育てる。	<p>ア他者への尊重・尊敬・思いやりなどの豊かな人間性</p> <p>イ福祉にかかわる社会の特質・問題の理解と、介護・福祉などの課題についての認識</p> <p>ウよりよい福祉社会実現のために、主体的に行動する実践的態度</p>	<p>ア地域の人々との交流や体験活動を通して、高齢者や障害者などを正しく認識すると共に、互いの違いや個性を認め合い、尊重し、思いやりをもって接する。</p> <p>イ高齢者や障害者などの置かれている現実など現代社会の福祉にかかわる現状や問題点をとらえると共に、ボランティア活動などの体験等を通して福祉に対する認識を深める。</p> <p>ウ身近な福祉問題の解決やよりよい福祉社会実現への様々な取組やそれに携わる人々の気持ちや考えを知り、自分ができることを発信したり、実践したりする。</p>	<p>ア誰もが障害をもつ可能性があり、高齢者になることを前提に、高齢者や障害のある人々は特別な存在ではないし、その人格が尊ばれ、一般の社会のなかに普通に参加し、平等に生きる権利があることを認識する。</p> <p>イボランティア活動などを通して様々な福祉にかかわる問題を認識し福祉政策や社会的諸サービスが対等の生活原理であることが分かる。</p> <p>ウ福祉にかかわる様々な問題について、日本と諸外国の取組とを比較したり、福祉政策の問題点について分析したりして、考えをまとめ、提言として発信していく。</p>
生命・健康	生命のすばらしさや尊さに気付き、自他の生命を尊重する心をもったり、心身共に健康で安全な生活を営んだりすることができる資質・能力を育てる。	<p>ア生命を尊重し、大切にしようとする態度</p> <p>イ健康で安全な生活についての理解及び実践する能力や態度</p>	<p>ア自分自身の生命をはじめ身の回りの様々な生命が互いに関係し合い生かされていることに気付き、生命の尊さや自他の生命を尊重しようとする心をもつ。</p> <p>イ健康で安全な生活を送るために運動・栄養・睡眠・食事などの多面的な視点から自分の生活を見直し、科学的な追究を基によりよい生活環境を創造することができるようにする。</p>	<p>ア生命について自然科学・社会科学・倫理等の面から考えたり、過去と現代人の考え方などを比較したりしながら、自他の生命に対するとらえ方を振り返り、生命を尊重しようとする心をもつ。</p> <p>イ健康で安全な生活を送るためにエイズなどの感染予防についての基礎的な知識をもつと共に、そこには偏見や差別が存在することを人権や道徳の面からとらえるようにする。</p>

地域	<p>自分たちが暮らしている地域に愛着をもち、家庭や学校を含めた地域の生活上の諸問題について理解を深め、自他を尊重しつつ、地域社会の一員としてよりよい民主的な生活の実現に意欲的、協力的に取り組もうとする資質や能力を育てる。</p>	<p>ア 地域の伝統・文化・行事・生活習慣・政治・経済・産業などの現状や問題点の理解 イ 地域や学校等の行事や活動、生活上の問題等の解決に向けて自他を尊重して協力的に取り組もうとする態度</p>	<p>ア 地域や生活上の問題について地域の専門家や様々な立場の人の意見を聞いたり、客観的、科学的にとらえたりして解決の方向性を探る。 イ 地域社会を構成する一員としての自覚と誇りをもち、他と協力してよりよい郷土の創造を目指した取組を行う。</p>	<p>ア 地域社会の現状や問題点を政治、経済、産業等、多面的、多角的な視点からとらえ分析・判断し解決しようとする。 イ 地域社会を構成する一員としての自覚と誇りをもち、自他を尊重しつつ、よりよい社会の実現を目指して、その発展に尽くそうとする。</p>
進路	<p>それぞれの職業の大切さや労働の意義について理解すると共に、自己の適性や将来について考え、個性豊かによりよく生きていくことができる資質・能力を育てる。</p>	<p>ア 具体的な活動や体験を通しての職業観・労働観の拡充 イ 自己の価値観の確立</p>	<p>ア 職業調べや職場体験を通して、働くことの喜びや厳しさ、働く人たちの仕事に対する思いや責任感にふれ、労働の意義について考える。 イ 自己の適性や将来の職業選択を視野に入れ、自己を高めていくために何が必要か考え、取り組もうとする。</p>	<p>ア 職業調べや職場体験等を通して、職場には性差や制度による様々な問題点のあることを科学的に理解し、自己の職業観を振り返る。 イ 現在や将来を真剣に考え、様々な社会参加の在り方や生き方の選択肢があること、生きがいをもって充実した人生を送ることの意味等を考える。</p>



## 4 学習シート

### (1) 学習シート1(テーマ設定)

総合学習

ふれあい高崎 1年組 番 路

① 高崎の問題点を見つけよう!  
(左下の観点も参考に  
してね)

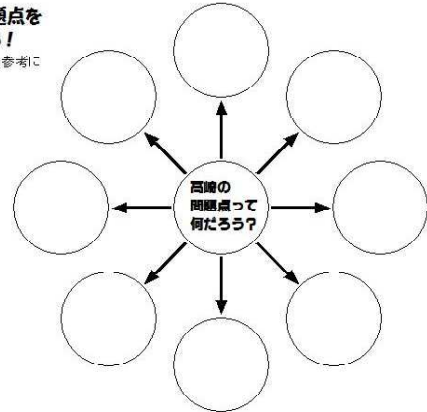
#### MENU 『調査テーマ』を決めよう!

**高崎はどんな町?**  
特徴は? 伝統は? 自慢は?  
何の不満もない住みよい町?  
本当!? けっこう課題や問題  
もありそうだよ。  
わが故郷を、さらによい町に  
するために「高崎新り!」を  
提案していきましょうという  
プロジェクトです。

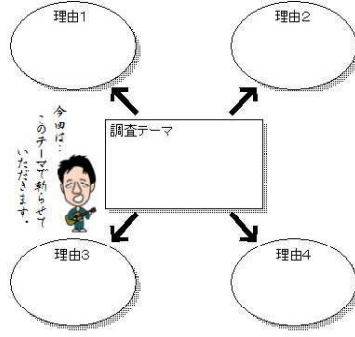


#### テーマを立てるときの視点

- ① 重要性があるか?  
(よりよい高崎をめざして、考える  
価値のある問題かどうか?)
- ② 緊急性があるか?  
(よりよい高崎をめざして、すぐに  
考えるべき問題かどうか?)
- ③ 調査が可能か?  
(調べる方法がありそうか?)  
(答えてくれそうな人がいるか?)



#### ② 調査テーマを決め、それに決めた理由を書き出そう!



ここに書いた理由が、  
調査の方向を決めますから  
書けない人は…残念!

領域	歴史&伝統	文化	自然&環境	産業	政治&くらし
テーマ例	祭りの現状 遺跡・旧跡 の保存 伝統工芸品 の昨今 消えつつある 伝統行事 など	伝えたい 慣習・風習 食文化の変遷 高崎の方言 知っておきた い文学作品 文化的行事 など	気候 地形・地理 河川・山 自然現象 動・植物 環境問題 など	農業の特徴 工業の特徴 商業の特徴 サービス業の特徴 特産物・名物 中心産業 など	福祉関係 交通の要所と しての課題 犯罪の増加 商店街の衰退 市の取り組み 財政問題 など

五人や先生からの参考意見・助言

### (2) 学習シート2(追究活動)

総合学習

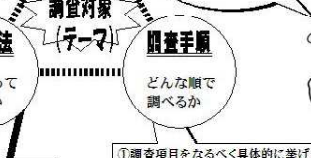
ふれあい高崎2 1年組 番 路

#### MENU 調査対象を決め、調査計画を立てよう!

テーマと設定理由から決める!  
★いつ(いつか)の問題か?  
★どこ(場所)での問題か?  
★何問題になっているのか?  
・原因(理由)と結果(現状)  
★どのような状況にあるのか?  
・数量や種類を確かめる(統計)  
・他の地域や項目と比較する  
★問題と関係しているのは誰か?  
・迷惑(不便)を感じている人  
・(反対に)有利になっている人  
★対策はとられているか?  
・努力している人、団体、行政



いろいろな立場の  
人の意見を集める  
努力を!!



- インターネット (パソコン室、教室、家庭)
  - ・キーワード検索
  - ・市役所と上毛新聞社のHP
- 文書資料 (図書館、資料館)
  - ・高崎市史、統計資料、まんが「高崎の歴史」
  - ・広報「かささぎ」、議会だより、その他
- 生の声を聞く(インタビュー、電話、アンケートなど)
  - ・地域の人、仕事で関わっている人、問題解決  
に努力している人の話 など
- 現地調査
  - ・現場を直接見て確かめる
  - ・学校周辺で確かめている

- ①調査項目をなるべく具体的に挙げる。
- ②調べるためのメディアを選び、まずは自力  
で調べる。(複数のメディアを使用する)  
※調査が難しい場合は、「アンケート」や「調査  
内容」「調査方法」を見直す。
- ③得た情報・欲しい情報を整理し、現地調査  
の計画を立てる。…あと、集める必要がある  
ものはなんだろう?  
(どこかに行き、誰かに聞けるか?)
- ④現地調査で、足りない情報を集める。  
(関係者に実際に会って、話を聞く)
- ⑤改善策を打ち出すための情報を、そろって  
いるか、検討する。(なければ補充調査)

所属	グループ	調査班
テーマ設定の理由 (なぜそれを調査しようと思ったのか?)		

調べようと思ったものから、調査内容は決まるよね!

調査内容	どんなことを調べるか?	調査方法	何を使って?
①			→
②			→
③			→
④			→
⑤			→
⑥			→
⑦			→
⑧			→

班やグループの話し合いで、出された意見 など

(3) 学習シート3 (考察)

総合学習

ふれあい高崎3 1年組 番 氏名

**MENU** よりよい高崎をめざして改善策を出そう

**問題の分析**

**原因  
&  
理由**

↓  
**取り組み**

**結果  
&  
現状**

【要素1】

【要素2】

【要素3】

◎現状

☆改善策

◎現状

☆改善策

◎現状

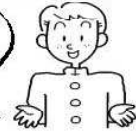
☆改善策

自分の調べたものは3要素のどこに問題を抱えているのだろうか？



ちょっと待ってよ！  
その改善案は実行できるもの？  
現実を考えてよ！  
①夢や希望でなく、現実的なもの？  
②社会的常識のレベルを超えてない？  
③何か自分でできることがある？  
特に、③は大事なよ人任せはダメ!!

問題要素を解消することが、そのまま改善提案につながるからね。書けた？  
じゃあOKだ！



**高崎をよくするための私の改善提案は…**  
(いくつでもあげてみよう)

(4) 学習シート裏面 (自己評価部分の例)

**テーマ決め 自己診断票**  
1年組 番 氏名

Q1. 自分的に納得のいくテーマが設定できましたか？  
A 大変満足 B まあ満足 C やや不満 D 大変不満  
そう考える理由

Q2. 友人や先生からの意見で、参考になった意見を書いてください。

Q3. 今回の「学習シート」は、テーマ決めの参考になりましたか？  
A 大変なった B まあなった C あまりならなかった  
D まったくならなかった  
どんなところが？



活動ごとに成果を分析して、自己評価してみよう。何が足りなかったか、はっきりさせようね。

自分が当てはまる項目を○で囲み、成果を確認しよう。

自己評価の観点	どのようなことが、どれくらいできればよいですか		
	とってもよい	よい	努力しよう
①テーマ決めの学習に、積極的に取り組むことができたか。	自力でテーマが設定できるだけでなく、問題マップづくりの時にも発言ができた。	自分の力で、テーマが設定できた。	自力でテーマが設定できなかった。
②テーマを決めた理由がはっきりしているか。	テーマの設定理由が4つ全部書けた。	テーマの設定理由が2〜3つ書けた。	テーマの設定理由が1つ以下しか書けなかった。
③テーマ検討会に積極的に参加できたか。	グループのメンバー(3人)全員にコメントできた。	グループのメンバー1〜2人にコメントできた。	グループのメンバー誰にもコメントできなかった。
④他人の意見を参考に、自分のテーマに対して修正や検討ができたか。	他人の意見を参考に自己のテーマを検討(修正)し、自信をもつことができた。	テーマはまだ完全とは言えないが、参考になる意見を得ることができた。	参考になる意見を見いだすことができず、テーマの検討ができなかった。